Memo

※施工時や故障のときなど、メモ用紙としてご利用ください。

NECライティング株式会社

東京都港区芝1-7-17
〒105-0014 http://www.nelt.co.jp/

<お客様相談室>
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00～12:00 13:00～18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-6746-1521

※この紙は再生紙を使用しています

NEC 照明器具
LEDシーリングライト
照明部 取扱説明書

保証書添付 保 存 用

●このたびはＮＥＣ照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。

●取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。

●取付工事が終わりましたら、この説明書はご使用になるお客様が保管してください。

Made for iPod iPhone

対応している iPod / iPhone を確認する

iPhone 5s, iPhone 5c, iPhone 5, iPhone 4s, iPhone 4, iPhone 3GS, iPod touch (3rd, 4th, and 5th generation)

※本製品は、アプリケーション情報サイト（P12参照）に記載されているiPod/iPhoneのソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。
※アプリケーション情報サイトに記載されているバージョン以外のソフトウェアをお客様のiPod/iPhoneにインストールした場合、本製品との互換が無くなる場合があります。
※上記以外のiPod/iPhoneの再生や操作は、保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。

iPod / iPhone のソフトウェアのバージョンを確認する

1. トップメニューから「設定」を選びます。
   iPod/iPhoneでは、「設定」→「一般」を選びます。
2. 「情報」を選びます。
   ソフトウェアのバージョンが表示されます。

※iPod/iPhoneのモデルやソフトウェアーのバージョンによっては一部機能が制限されます。
※iPod/iPhoneは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを、個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
※本機とiPod/iPhoneを組み合せてご使用の際、万一iPod/iPhoneのデータに不具合が生じても、データの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。
※iPod/iPhoneの機能および操作については、iPod/iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

器具取付時の安全上の注意

●ご使用の前に、この「器具取付時の安全上の注意」を、よくお読みの上、正しくお使いください。

【注意図記号とシグナル用語の意味について】

⚠ 警告　誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。

⚠ 注意　誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

⚠ この記号は、注意（警告）をうながす内容があることを知らせるものです。

🚫 この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。

❗ この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

⚠ 警 告

❗ 器具の取り付けは、取扱説明書により確実に取り付けてください。取り付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因となります。

🚫 風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。漏電し、火災・感電の原因となります。

❗ 器具の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取付に不備があると落下し、感電・けがの原因となります。

❗ 電源線接続の際は、器具の取付方法によって確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。

⚠ 注 意

🚫 器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼してください。一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。

🚫 天井の取付面の構造や材質により、取付面が変色等を起こす場合があります。

🚫 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。

🚫 この器具は非防水です。湿気、水気のあるところで使用しないでください。湿気、水気のあるところで使用すると、感電・火災の原因となることがあります。

🚫 この器具は屋内用です。使用環境温度範囲は5℃～35℃、使用環境湿度は85%以下(通風孔が妨げられていないこと)です。風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

使用時の安全上のご注意

●ご使用の前に、この「使用時の安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。
- 部品の追加改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具の隙間や放熱穴に、金属類やもえやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- お手入れの際には、必ず電源を切ってください。電源を切らないと、感電の原因となることがあります。
- お手入れなどによりカバー、本体を外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。不完全に取り付けると、落下してケガ・物損の原因となることがあります。
- 器具のカバーを破損した場合は、器具の電源を切ってからご購入先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 光源にはLEDを搭載しています。安全上、LED光源を直視することはおやめください。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。
- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず器具の電源を切ってから、ご購入先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

- **壁付調光器のある回路では使用できません。照明器具が故障します。**
- お手入れの際は、水洗いはしないでください。火災・感電の原因となります。
- **お手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。点灯中・消灯直後はLED光源及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。LED光源及び本体周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。**
- LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- LED光源ユニットは、通常のランプのようにお客様自身での交換はできません。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。
- 暖房器具、ガス器具や加湿器の真上やその付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。(この製品は5℃～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。)
- 照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが発生することがありますがご了承ください。
- 万一、カバーなどが破損した場合、ケガの原因となることがありますので、破損部分に直接手や肌などをふれないでください。
- 旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず壁スイッチを切るか、ブレーカーを落としてください。
- ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。
- アルカリ乾電池をご使用ください。マンガン乾電池をご使用の場合は、電池の寿命が短くなる。また送信距離が短くなる、および液晶が表示されない場合があります。
  電池寿命の目安(1日10回使用の場合)
  アルカリ乾電池　約6ヶ月
- 乾電池は、単4形乾電池をご使用ください。
- 乾電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(+)マイナス(−)の向き)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 乾電池は、+・−の極性を正しく入れてください。
- 長時間使用しない時は、乾電池を取り出しておいてください。乾電池から液が漏れて、火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。
- 電池を直接日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。
- 電池は過熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

使用上のご注意

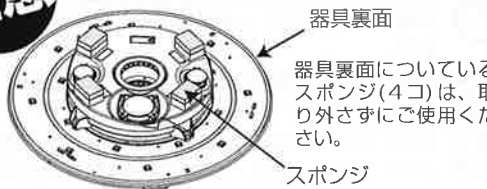
■本体を分解したり、改造しないでください。
火災などの原因になります。
■精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。
■点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがありますが、器具の故障ではありません。
■防虫ガイド対応器具は、従来の密閉型器具に比べて虫が入りにくくなっています。
■本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。
リモコン式テレビなどには使用できません。
また、テレビやビデオのリモコン送信機では、照明器具は作動しません。
■器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。
■壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。壁スイッチON及び停電復帰後は、壁スイッチを切る前又は停電前の状態にもどります。
■この器具はリモコンスイッチで消灯しても照明部(1W以下)、スピーカ部(0.7W)の電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイッチを切ってください。
■本器具をご使用中あるいはリモコン送信機で消灯させた状態で停電した場合、停電から復帰したときは停電前の状態にもどります。
■3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見えることがあります。
■3Dテレビを視聴している時は、リモコンが反応しにくい場合があります。
■リモコン送信機は器具に向けて操作してください。
リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が作動しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください。
■照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。
＊部屋の温度によっては、リモコンが動作しづらいことがあります。
■天井や、壁、床の色や材質によってはリモコンが動作しづらいことがあります。
■おやすみタイマ機能、留守タイマー機能をご使用になる場合は、あらかじめリモコンで照明器具が操作できる距離を確認してからご使用ください。
■シンナー、ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用して本体を拭かないでください。
外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

取付上のご注意

壁付調光器のある回路では使用しないでください。

⚠注意
本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。
右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。
(調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。)

〈調光器付壁スイッチ代表例〉

注意

器具裏面

器具裏面についているスポンジ(4コ)は、取り外さずにご使用ください。

スポンジ

仕様

照明部形式名	スピーカー部形式名
HLDCB****SP SLDCB*****SP	N-4420 SPユニット (S-LTS001 スピーカーユニット)
HLDCD****SP SLDCD*****SP	

■ 定格

照明部

形式：弊社形式 HLDCB****SP、SLDCB*****SP		
定格電圧	AC 100 V	
定格周波数	50 Hz / 60 Hz	
定格消費電力	43 W (ナチュラルモード)	
	アクティブモード時	30 W
	リラックスモード時	13 W
	常夜灯のみ点灯時	約2 W
	リモコンOFF時	1 W以下
入力電流	0.44 A	
形式：弊社形式 HLDCD****SP、SLDCD*****SP		
定格電圧	AC 100 V	
定格周波数	50 Hz / 60 Hz	
定格消費電力	57 W (ナチュラルモード)	
	アクティブモード時	40 W
	リラックスモード時	17 W
	常夜灯のみ点灯時	約2 W
	リモコンOFF時	1 W以下
入力電流	0.58 A	

LED照明器具の光源の推定寿命は、40000時間です。
光源寿命とは、点灯しなくなるまでの総点灯時間または全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

※ 40000時間は、寿命を保証するものではありません。

スピーカー部

項目	値
定格電圧	100 V
定格周波数	50 Hz / 60 Hz
定格消費電力	6 W
リモコンOFF時	0.7 W

■ スピーカー

項目	値
型式	密閉式
フルレンジ	4.0 cm コーン型
ウーファー	7.7 cm コーン型
再生周波数帯域	50 Hz ～ 20 kHz

■ *Bluetooth*®

項目	値
通信方式	*Bluetooth*®標準規格 Ver.2.1 + EDR
出力	*Bluetooth*®標準規格 Class2
見通し通信距離	約10 m
使用周波数帯域	2.4 GHz帯(2.4000 GHz~2.4835 GHz)
変調方式	FHSS(周波数ホッピングスペクトラム拡散方式)
対応*Bluetooth*®プロファイル	A2DP、SPP
対応コーデック	SBC(Subband Codec)
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式

音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。隣近所・アパート・マンションなどの上下・左右のお部屋への思いやりを十分いたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞にはとくに気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り快い生活環境を守りましょう。

<ARA7295-A>

故障?と思われたら

■ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。
■下表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC製品取扱店にご相談ください。

■なお連絡されるときは器具の形式名及びお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。
■形式名は器具本体部の器具ラベルに表示しています。

照明部

症　状	主な原因	処置方法
点灯しない	コネクタが正常に差し込まれていない。	11ページ「4.電源を接続する」を参照してください。
	照明器具の壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをONにしてください。
点灯しないときがある	リモコンでOFFにした後、壁スイッチ2秒以上たってから再度壁スイッチをONにしている。(消灯状態をメモリーしている)	壁スイッチコントロール機能を使用するか、リモコンの各ボタン操作して点灯させてください。
勝手に点灯・消灯する	(表示例:⌂12 ◷ 30分60分 AM 10:00) 上図のように留守タイマーマーク及びおやすみタイマーマークが表示されている。	9ページ 留守タイマーまたはおやすみタイマーそれぞれの「解除方法」を参照してください。
明るさが勝手に変わる 点灯モードが勝手に変わる	デモモード機能状態となっている。	5ページ「デモモードの解除方法」を参照してください。
留守タイマー おやすみタイマーが動作しない	リモコンがホルダーに入っていない。	7〜9ページを参照してください。
	リモコンが信号の届かない場所に置かれている。	
ホタルック機能が動作しない	常夜灯ユニットの残光スイッチが「切」になっている。	11ページ「6.ホタルック機能を設定する」を参照してください。
リモコン操作ができない	照明器具の壁スイッチが入っていない。	壁スイッチを入れてください。
	リモコンの電池が少なくなっている。	3ページ「リモコンの電池の入れかた」を参照のうえ、電池を交換してください。
	リモコンの電池の極性⊕⊖が間違っている。	3ページ「リモコンの電池の入れかた」を参照のうえ、正しい向きで電池を入れてください。
	リモコンが信号の届かない場所に置かれている。	8ページ、9ページを参照のうえ、リモコン信号が届く範囲で操作してください。
	リモコンと照明器具の間に障害物がある。	障害物を取り除くか、8ページか9ページを参照のうえ、リモコン信号が届く範囲で操作してください。
	チャンネルスイッチが合っていない。	11ページ「5.チャンネルを設定する」を参照のうえ、チャンネルを設定してください。
液晶表示がでない	リモコンの電池が少なくなっている。	3ページ「リモコンの電池の入れかた」を参照してください。
	リモコンの電池の極性⊕⊖が間違っている。	

スピーカー部

症　状	主な原因	処置方法
リモコン操作ができない	照明部の「リモコン操作ができない」を参照してください。	
音が小さい	音量調節が最小になっている。	14ページ「音量を調節する」を参照してください。
	リモコンの「音量」ボタンの操作に10秒以上経過している。	14ページ「音量を調節する」を参照してください。
スピーカー部をオフにした後、オンができない	オフにした後、5秒以内にオンしている。	13ページ「スピーカー部の電源を単独でオン/オフする」を参照してください。
Bluetooth® 機能搭載機器の音が出ないまたは正しく動作しない	*Bluetooth*®機能搭載機器とのペアリングをしていない。	15ページ「*Bluetooth*®機能搭載機器の準備をする」を参照のうえ、*Bluetooth*®機能搭載機器とのペアリングを行ってください。
	Bluetooth®機能搭載機器の正しい操作や設定をしていない。	*Bluetooth*®機能搭載機器の取扱説明書を参照してください。
ペアリングできないまたは[N001LT]が見つからない	ペアリングの待機時間(10分間)が過ぎている。	15ページ「*Bluetooth*®機能搭載機器の準備をする」を参照してください。
環境音が切り替わらずに停止してしまう	リモコンの「環境音」ボタンの操作に2秒以上経過している。	14ページ「環境音を楽しむ」を参照してください。
照明を点灯してもスピーカー部の電源オンの確認音が鳴らない	電源の確認音は、リモコンの「スピーカー電源ON/OFF」ボタンを押したときのみ鳴る。	13ページ「スピーカー部の電源を照明の点灯状態と連動してオン/オフする」、「スピーカー部の電源を単独でオン/オフする」を参照してください。
専用アプリケーションでの自動接続が正しくつながらない	ペアリングできていない。	15ページ「専用アプリケーションで自動接続がオンのとき」を参照してください。
Bluetooth® 接続で音楽を再生しているとき音が途切れたりする	・電波干渉している。 ・*Bluetooth*® の接続範囲を超えている。	16ページ「使用範囲について」を参照してください。

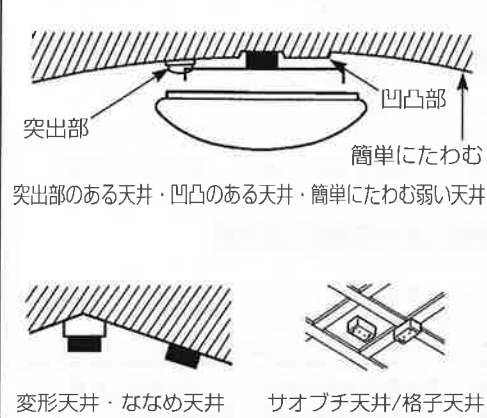
取り付けできない天井

火災・感電・落下によるけがの原因となります。

火災・感電・落下によるけがの原因となります。

突出部　凹凸部　簡単にたわむ

突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ弱い天井

変形天井・ななめ天井　　サオブチ天井/格子天井

下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。

ガタつくもの

次の配線器具は、出しろを確認してください。

角型、丸型引掛シーリング21㎜以下は取り付けできません。

埋込ローゼット10㎜以下は取り付けできません。

電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

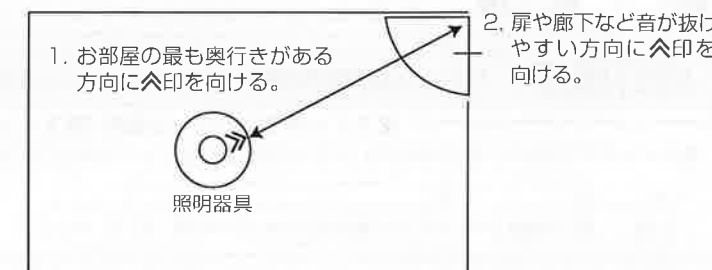
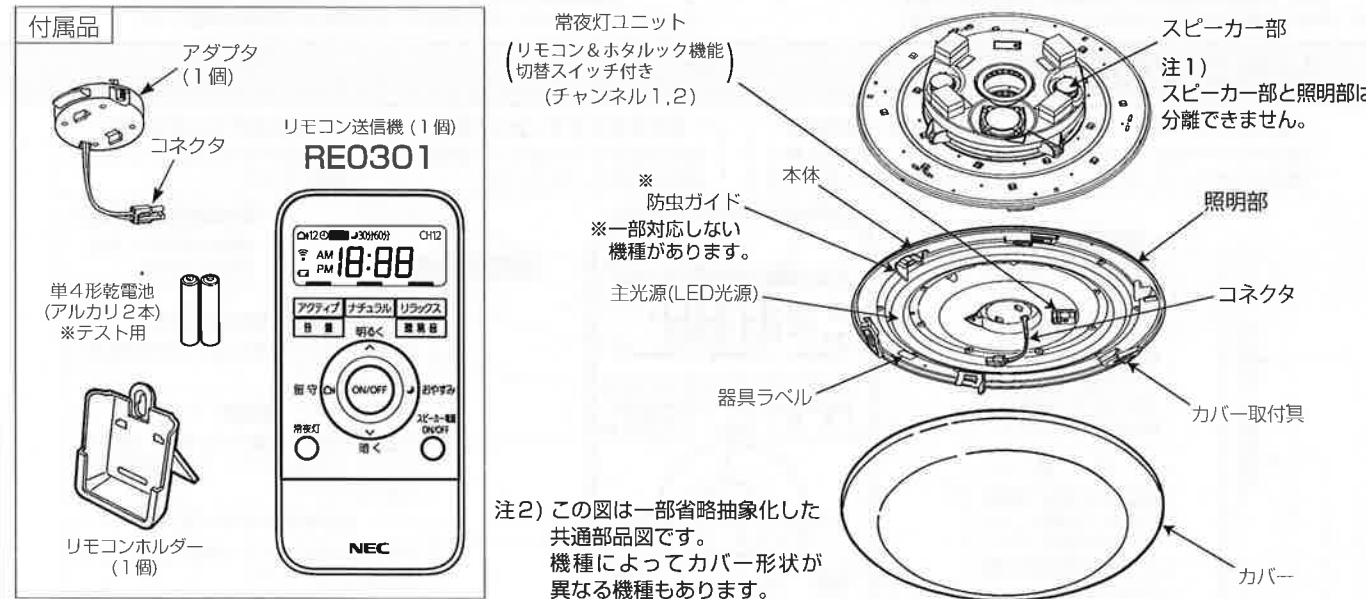
天井への取り付けに関して

本器具のスピーカー部は、洋室や和室などさまざまなタイプのお部屋に取り付けて聴いていただけるように音質設計されており、お部屋のどの場所で音楽を聴いても自然な聞こえ方になるように配慮された音質になっています。
(音の指向性が少なくなるように音質設計されております。)
ただし、お部屋の広さや形状、聞く場所によっては音楽の聞こえ方に多少違いが出ることがありますので、照明器具に貼り付けてある≪印がお部屋の一番奥行きのある方向に向くように取り付けると、比較的バランスのとれた音質となりやすいので、照明器具を取り付けの際の参考にしてください。

【取り付け参考例】

各部の名称

付属品

注2) この図は一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なる機種もあります。

リモコンの電池の入れかた

※2ページの「使用時の安全上のご注意」もご確認ください。

1. リモコン裏面の電池カバーを軽く押しながら手前に引いて外してください。
2. 単4形乾電池2本を、右図のように⊕⊖の向きを合わせてセットする。
3. 電池カバーをスライドさせ、カバーを閉じる。

※無理にカバーを押さえたりすると、カバーツメ破損の原因となります。

照明部機能紹介

機能	説明
壁スイッチコントロール機能（4ページ）	壁スイッチの動作で明るさを切り替えることができます。
液晶表示（4ページ）	①現在時刻表示 ②留守タイマーセット表示 ③おやすみタイマーセット表示 ④現在のCH表示 ⑤現在の点灯モード表示
リモコン機能（5・6ページ）	リモコン送信機で主光源の点灯や消灯等の操作ができます。
留守タイマー機能（7～9ページ）	お好きな時間に照明器具を自動で点灯、消灯できます。
おやすみタイマー機能（9ページ）	リモコン送信機のワンボタン操作で30分後又は60分後にLEDを自動で消灯させることができます。

〈 ホタルック機能 (11ページ) 〉

リモコンまたは壁スイッチにて消灯させたとき、淡いブルーグリーンの光でお部屋を照らします。(約２～３分間)
ホタルック点灯は、下記いずれかの方法で主光源または常夜灯を消灯した場合、自動的に作動します。

〇リモコンで消灯したとき　〇壁スイッチで消灯したとき　〇停電によって消灯したとき

・ホタルック点灯は約３分の間に徐々に暗くなり、自然に消灯します。
・ホタルック機能が不要な場合は、常夜灯ユニット(器具本体側)の残光スイッチを「切」にしてください。(11ページ)　※ホタルック機能の「入/切」の操作はリモコンで行うことはできません。

スピーカー部機能紹介

■ 本機(スピーカー部)には、あらかじめ６種類の環境音が用意されています。環境音は、雰囲気のある音場のシーンを演出します。
■ 携帯電話やスマートフォン、ポータブルオーディオプレーヤー、*Bluetooth*® 機能内蔵パソコンなど *Bluetooth*® を搭載したオーディオ再生機器と接続して、音楽を楽しむことができます。

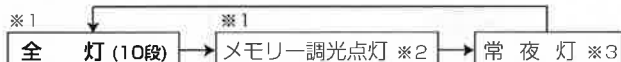
※詳細は、スピーカー部説明書(12ページ～)をご覧ください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所・アパート・マンションなどの上下・左右のお部屋への思いやりを十分いたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞にはとくに気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り快い生活環境を守りましょう。

点灯順序　リモコン送信機での操作方法は、５・６ページをご覧ください。

壁スイッチコントロール機能 (壁スイッチで点灯状態を切り替える場合)

壁スイッチですばやく (約２秒以内) OFF→ONすることにより次のように点灯順序が切り替わります。

注1) リモコンで消灯した場合に、壁スイッチですばやくOFF→ONすると消灯する前の点灯状態によらずメモリー調光点灯に切り替わります。
注2) 壁スイッチをOFFにするとどの点灯状態でも消灯します。

※1…アクティブ／ナチュラル／リラックスのいずれかの点灯モードで点灯します。(点灯モードについての詳細は8ページをご覧ください)
※2…メモリー調光点灯は記憶された明るさ/点灯モード(消灯直前の点灯状態)で点灯します。(明るく/暗くボタンで調節したお好みの明るさとお好みの点灯モードを自動的に記憶しています。)ただし、最後に使用していた明るさが全灯(10段)の場合は、記憶された点灯モードの明るさ５段で点灯します。
※3…常夜灯の明るさは最後に使用していた明るさになります。
※4…壁スイッチでは、点灯モードを切り替えることはできません。点灯モードを切り替えたい時は、リモコンの「点灯切り替えボタン(アクティブ/ナチュラル/リラックス)」で切り替えることができます。
※5…壁スイッチで操作した場合、照明器具の明るさがリモコンに表示された明るさと異なることがあります。その時リモコンの明るく/暗くボタンで明るさを調節すると照明器具がリモコンに表示された段数の明るさに切り替わります。
※6…環境音を設定している場合は、各点灯状態で環境音を再生します。

リモコンの名称

※リモコンにはホタルック機能の「入」、「切」ボタンはついておりません。

チャンネル切替ボタン
3秒以長押しすることでリモコン信号の送信チャンネルを設定します。
照明器具を２台使用する場合など器具ごとにCH１とCH2で分けることができます。(11ページ)

安全にお使いいただくために

・高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
・航空機器や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関の指示に従ってください。

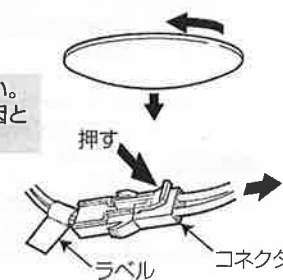
ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

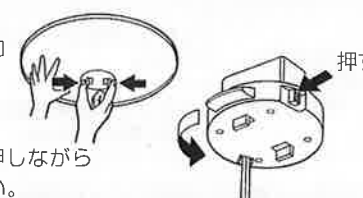
この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要さない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口（表紙）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、ご相談窓口（表紙）へお問い合わせください。

器具のはずしかた　必ず電源を切って本体やLED光源が冷えてから行ってください。

■カバーのはずしかた
カバーを左に回してください。
カバーは無理にはずさないでください。カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

■電源の外しかた
右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。

■本体の外しかた
本体中央部のレバーを矢印方向へ引いてください。

押す

■アダプタの外しかた
アダプタの赤いボタンを押しながら矢印方向に回してください。

※ボタンを押さずにアダプタを回すと引掛シーリングが破損します。

iPod/iPhone について

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれiPodまたはiPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリをiPodまたはiPhoneと使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

お手入れのしかた　お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。

・明るく安全に使用していただくため、定期的 (6ヶ月に１回程度) に清掃、点検してください。
・ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
・器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。
・カバー等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。

▼本機(スピーカー部)の使用周波数に関わるご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
2. 万一、この機器から移動体識別用の場内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

NECライティング株式会社
http://www.nelt.co.jp/
<お客様相談室>
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間　平日9:00～12:00　13:00～18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX 03-6746-1521

＊切り取って本機に貼ってお使いください。

〈電波に関するご注意〉

本機（スピーカー部）は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、下記①に示すようにいろいろな機器が使用しています。また、お客様に存在がわかりにくい機器として下記②に示すような機器もあります。

① 2.4 GHz を使用する主な機器の例
- コードレスフォン
- コードレスファクシミリ
- 電子レンジ・無線LAN 機器（IEEE802.11b/g/n）
- ワイヤレスAV 機器
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- マイクロ波治療機器類

② 存在がわかりにくい2.4 GHzを使用する主な機器の例
- 万引き防止システム
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム

これらの機器と本機（スピーカー部）を同時に使用すると、電波の干渉により、音がとぎれて雑音のように聞こえたり、音が出なくなることがあります。受信状況の改善方法としては以下の方法があります。

- 電波を発生している相手機器の電源を切る
- 干渉している機器の距離を離して設置する

次の場所では本機（スピーカー部）を使用しないでください。ノイズが出たり、送信/受信ができなくなる場合があります。

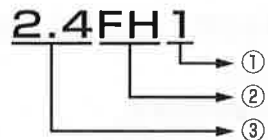
- 2.4 GHzを利用する無線LAN（IEEE802.11b/g/n）、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります）
- テレビにノイズが出た場合、*Bluetooth*®機能搭載機器や本スピーカー部（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。*Bluetooth*®機能搭載機器や本スピーカー部（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

電波法に基づく認証について

本機（スピーカー部：*Bluetooth*®機能搭載機器）は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内のみで使用できます。ただし、以下の行為をすると法律により罰せられることがあります。

- 本機（スピーカー部）を分解／改造すること。
- 本機（スピーカー部）に貼られている証明ラベルをはがすこと。

周波数について

周波数表示の見かた
（本スピーカー部の側面に貼られているラベルに記載）

①「1」想定される与干渉距離（約10 m）を表します
②「FH」変調方式を表します
③「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します

使用範囲について

ご家庭内での使用に限ります（通信の環境により伝送距離が短くなることがあります）。
次のような場合、電波状態が悪くなったり電波が届かなくなることが原因で、音声がとぎれたり停止したりします。

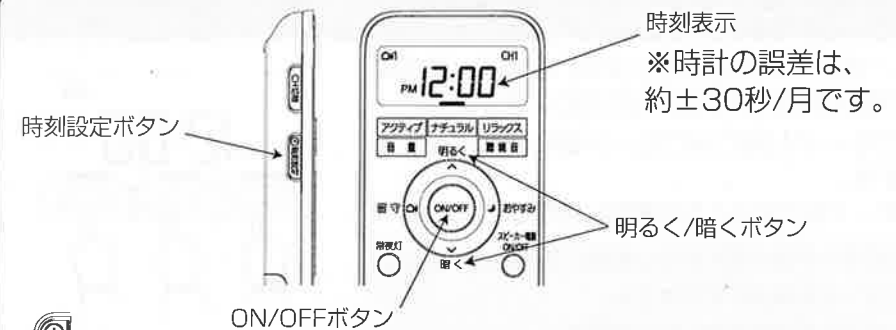
- 鉄筋コンクリートや金属の使われている壁や床を通して使用する場合。
- 大型の金属製家具の近くなど。
- 人混みの中や、建物障害物の近くなど。
- 2.4 GHzを利用する無線LAN（IEEE802.11b/g/n）、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。
- 集合住宅（アパート・マンションなど）にお住まいで、お隣で使用している電子レンジ設置場所が本機（スピーカー部）に近い場合。なお、電子レンジは、使用していなければ電波干渉は起こりません。

電波の反射について

本機（スピーカー部）が通信する電波には、直接届く電波（直接波）と、壁や家具、建物などに反射してさまざまな方向から届く電波（反射波）があります。これにより、障害物と反射物とのさまざまな反射波が発生し、電波状態の良い位置と悪い位置が生じ、音声がうまく受信できなくなることがあります。
このようなときは、*Bluetooth*®機能搭載機器の場所を少し動かしてみてください。*Bluetooth*®機能搭載機器と本機（スピーカー部）の間を人間が横切ったり、近づいたりすることによっても、反射波の影響で音声がとぎれたりすることがあります。

⚠ 注意

- 本機（スピーカー部）の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機（スピーカー部）は、すべての*Bluetooth*®機能搭載機器との接続動作を保証するものではありません。

次ページ ▶▶
時刻の合わせかた

時刻設定

時刻設定ボタンをAM/PM表示が点滅するまで長押ししてください。

⬇

明るく/暗くボタンを押して、AM/PMを選びます。
（例として午前9時の設定をします。）

⬇

AM/PMが決まれば ON/OFF ボタンを押します。

※右図液晶画面の ◯ は、点滅状態を示しています。

⬇

AM/PMが決定され、時刻表示が点滅します。

⬇

明るく/暗くボタンを押して、希望の時刻に合わせます。
明るく/暗くボタンを押すと時刻が1分単位で変化し、長押しすると時刻が10分単位で変化します。

⬇

時刻が決まれば ON/OFF ボタンを押します。

⬇

時刻の点滅が停止し、時刻が設定されました。

表示	
時刻設定前	PM 12:00 CH1
AM？ PM？	PM 12:00 CH1 / AM 12:00 CH1
時刻設定	AM 12:00 CH1 / AM 9:00 CH1
時刻設定完了	AM 9:00 CH1

注）設定を間違えた場合/設定の途中に他の操作を行いたい場合
設定の途中で操作をやりなおすことや他の操作を行なうことはできません。
一度設定を完了させてから再度設定及び他の操作を行ってください。

リモコンの操作方法

点灯/消灯させたい場合

ON/OFF　ON/OFFボタンを押すと点灯/消灯します。
（点灯時は記憶された明るさ/点灯モードで点灯します。）
※ON/OFFボタンで消灯する際、ゆっくり消灯していきます。

常夜灯を点灯させたい場合

常夜灯　常夜灯ボタンを押すと、常夜灯のみ点灯します。

調光させたい場合

明るく/暗くボタンを押すと1～10段調光が1段ずつできます。（常夜灯時は1～7段の調光）

点灯モードを切り替えたい時

アクティブ　アクティブボタンを押すと昼光色(白い光)で点灯します。【アクティブモード】

ナチュラル　ナチュラルボタンを押すと昼白色(昼光色＋電球色)で点灯します。【ナチュラルモード】

リラックス　リラックスボタンを押すと電球色(暖かい光)で点灯します。【リラックスモード】

※点灯モードが切り替わる場合は、明るさが全灯(10段)状態になります。

詳細及びその他の機能は8～11ページを参照してください。

※壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。
※環境音を設定している場合は、各点灯状態で環境音を再生します。

《デモモードの解除方法》

注）LED光源ユニットが調光・点灯モードの切替を繰り返す場合は、デモモード機能状態になっています。（故障ではありません）

〈解除方法〉
1. 壁スイッチにて電源を切る。（壁スイッチが無い場合は、器具からアダプタのコネクタを抜いてください。）
2. 器具本体側チャンネルとリモコン送信機チャンネルを「2」に合わせてください。
3. 電源を切ってから30秒以上経過後、再度電源を入れてください。
※必ず電源を切ってから 30 秒以上お待ちください。
4. 電源を入れてから、**5秒以内**にリモコン送信機を器具に向けた状態でボタンを右図の順番に押してください。
「ピピピッ」という音が鳴り、デモモードが解除されます。
※「ピピピッ」という音が鳴らない場合は、上記作業を 1. から再度行ってください。

5秒以内に実施ください。

点灯状態切替の操作方法

点灯モードを切り替えたい時

点灯モード切り替えボタン(アクティブ／ナチュラル／リラックス) を押すと現在の点灯モードが表示され、各点灯モードの調光段数10段(全灯)で点灯します。

※常夜灯及び消灯時に記憶している点灯モードと同じ点灯モード切り替えボタンを押すと記憶している明るさで点灯します。
(常夜灯・消灯前に点灯させていた点灯モード及び明るさを自動的に記憶しています。)

注1) 各モードで点灯している時に同じ点灯モード切り替えボタンを押しても変化しません。
注2) 壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。
壁スイッチで点灯させてからリモコンでの操作を行なってください。

点灯モード切り替え例

〈切り替え例①〉

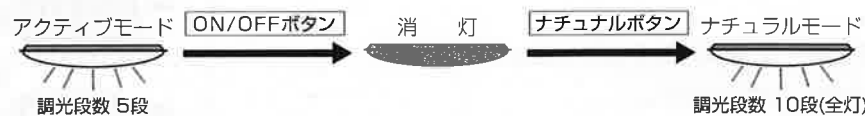
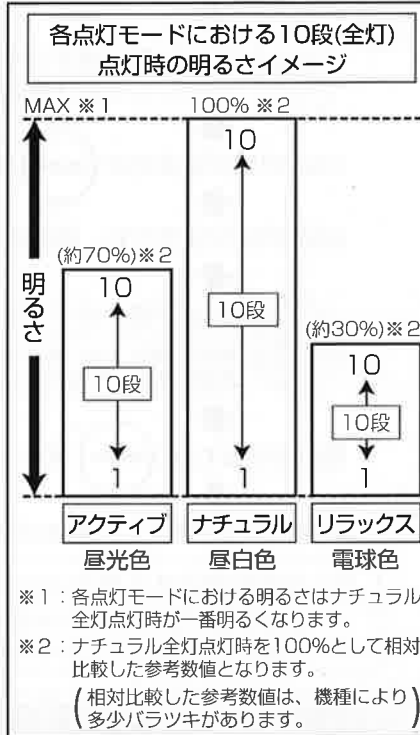
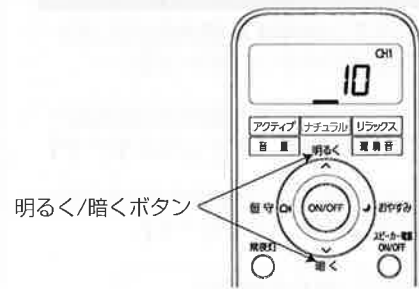
〈切り替え例②〉

〈切り替え例③〉

〈切り替え例④〉

変化しません

各点灯モードにおける10段(全灯)点灯時の明るさイメージ

※1：各点灯モードにおける明るさはナチュラル全灯点灯時が一番明るくなります。
※2：ナチュラル全灯点灯時を100%として相対比較した参考数値となります。
(相対比較した参考数値は、機種により多少バラツキがあります。)

明るさを変えたい時

■明るく／暗くボタンを長押しすると連続で明るさが調光します。
1段(10%) ←――――――――――――→ 10段(全灯)
お好みの明るさになったところでボタンを離すとその明るさで点灯します。

■明るく／暗くボタンを短押しすると1段ずつ明るさが調光します。
1段(10%) ←→ 2段←→ 3段 ←→・・・9段 ←→10段(全灯)
ボタンを押すごとに1段ずつ変化します。

注) リモコンが常夜灯を操作する状態になっていると、明るさは7段以上にはなりません。

※常夜灯も調光することができます。
明るく／暗くボタンを長押しすると1段 ←→7段 で連続で調光します。
短押しすると1段 ←→2段←→・・・6段←→ 7段 で1段ずつ調光します。

注1) 1段(10%)及び10段(全灯)点灯時のみ「ピッ」と音がなります。
※常夜灯時は1段及び7段で点灯した時のみ「ピッ」と音がなります。
注2) 1段(10%)及び10段(全灯)点灯時に明るく／暗くボタンを押しても明るさは変化しません。
※常夜灯時は1段及び7段で点灯した時は、明るく/暗くボタンを押しても明るさは変化しません。
注3) 照明器具の明るさがリモコンに表示された明るさと異なっている場合、リモコンの明るく／暗くボタンで明るさを調節すると照明器具がリモコンに表示された段数の明るさに切り替わります。
注4) 壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。
壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください

Bluetooth®機能搭載機器の準備をする

本機(スピーカー部)は携帯電話やスマートフォン、ポータブルオーディオプレーヤー、*Bluetooth*®機能内蔵パソコンなど*Bluetooth*®を搭載したオーディオ再生機器と接続して、音楽を楽しむことができます。

■ ペアリング(*Bluetooth*®機能搭載機器の登録)

Bluetooth®機能搭載機器とはじめて接続するときは、ペアリングによる登録をしてください。一度ペアリングをすると、次回からは登録済みの*Bluetooth*®機能搭載機器として認識されます。

・ペアリングとは、*Bluetooth*®機能搭載機器同士の接続設定を行うことです。ペアリングを行うことで、本機(スピーカー部)と*Bluetooth*®機能搭載機器がつながって、アクセスできるようになります。
・本機(スピーカー部)は、*Bluetooth*®バージョン2.1に対応している機器と接続できます。*Bluetooth*®バージョン 2.1未満のときは、PINコード"0000"の入力設定を行うことにより接続ができます。
・ペアリングの情報は最大8台まで登録できます。ペアリングの相手機器が8台を超えるときは、過去に接続された機器の情報が古い順に消去されます。

1. 過去に本機(スピーカー部)と接続したことがある、すべての*Bluetooth*®機能搭載機器の電源を切っておきます。
2. 本機(スピーカー部)の電源をオンにします。本機(スピーカー部)がペアリング待機状態になります。(待機時間は10分間)

※ペアリングが完了せずに10分が経過すると、本機(スピーカー部)のペアリング待ち状態が解除され、*Bluetooth*®接続待ち状態となります。もう一度ペアリング状態にする場合は、本機(スピーカー部)の電源を一度オフにしてから再度オンにしてください。

3. ペアリングしたい*Bluetooth*®機能搭載機器の電源を入れ、ペアリング操作をします。ペアリングが完了すると、自動で*Bluetooth*®接続状態となります。

※ペアリングの方法は、接続する*Bluetooth*®機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。
※ペアリングで表示される本機(スピーカー部)の名称は[N001LT]です。

Bluetooth®機能搭載機器の音楽を再生する

Bluetooth®機能搭載機器は、以下の方法で接続します。

1. 本機(スピーカー部)の電源をオンにします。
2. ペアリングが終了している*Bluetooth*®機能搭載機器の電源を入れ、機器側の設定で本機(スピーカー部)[N001LT]を選択して接続します。
3. 接続が完了すると、*Bluetooth*®機能搭載機器側で接続の状態が表示されて音楽を再生できます。

※接続の設定は、接続する*Bluetooth*®機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。
※接続する*Bluetooth*®機能搭載機器は、プロファイル:A2DPに対応している必要があります。
※本機(スピーカー部)は、SCMS-T方式でコンテンツ保護されている音楽を聴くことができます。
※専用アプリケーションの設定で、自動接続設定がオンのときは、下記の方法で行ってください。

専用アプリケーションで自動接続設定がオンのとき

専用アプリケーションの設定で自動接続設定がオンになっているときは、*Bluetooth*®接続を自動で行います。

1. ペアリングが終了している専用アプリケーションを搭載した機器の電源が入っている状態で、本機(スピーカー部)の電源を入れます。
2. *Bluetooth*®接続を自動で行います。

※専用アプリケーションの自動接続設定方法に関しては、12ページに掲載しているQRコードのサイトをご覧ください。
※自動接続で正しくつながらないときは、本機(スピーカー部)の電源をオフにして再度オンにするか、専用アプリケーションを搭載している機器側から*Bluetooth*®接続を行ってください。

次ページ ▶▶

環境音を楽しむ

本機（スピーカー部）には、あらかじめ以下の6種類の環境音が用意されています。環境音は、雰囲気のある音場のシーンを演出します。

<環境音の種類>

NO.1　鳥のさえずり	NO.2　せせらぎと小鳥	NO.3　サンゴ海ビーチ
NO.4　小川の流れ	NO.5　夜のビーチ	NO.6　虫の声

※製品出荷時の環境音は「NO.1 鳥のさえずり」です。

■ 環境音を再生する

1. スピーカー部の電源を、オンにしてください。
2. リモコンの［環境音］ボタンを押すと、環境音が再生されます。

※最後に再生された環境音が再生されます。
※*Bluetooth*®機能搭載機器の音楽が再生されているときは、環境音がミックスされて同時に再生されます。

■ 環境音を選ぶ

・環境音の再生が始まって2秒以内にリモコンの［環境音］ボタンを押すと、環境音が以下のように切り替わります。

※再生が始まってから2秒以内に押してください。2秒以上経過してボタンを押すと、再生が停止します。

■ 環境音を停止する

環境音の再生中にリモコンの［環境音］ボタンを押すと、環境音が停止します。

※再生が始まって、2秒以上経過してから押してください。2秒以内に押すと、環境音が切り替わります。

音量を調節する

環境音と*Bluetooth*®機能搭載機器の音量を、1（最小）～5（最大）の5段階に切り替えます。

リモコンの［音量］ボタンを押すと、再生中の音量がレベル1（最小）になり、続けて10秒以内にボタンを押すと音量が以下のように切り替わります。

※ボタンは10秒以内に押してください。最後のボタン操作から10秒以上経過して押すと、再び音量がレベル1（最小）になります。
※ボタンを押すと、設定した音量で"シャーン"という合図の確認音が鳴ります。なお、環境音再生中は、確認音は鳴りません。
※環境音と*Bluetooth*®機能搭載機器が同時に再生されているときは、2つの音量が同時に変化します。
※本機（スピーカー部）の音量を調節しなくても、*Bluetooth*®機能搭載機器によっては、機器側の音量を調節することで音量を小さくすることができます。
※製品出荷時の設定はレベル3です。

留守タイマーの時刻設定方法

《留守タイマー機能》

お好みの時間に主光源を自動で点灯、(消灯→点灯) させることができます。また、2種類(留守1、留守2)の設定を登録させておき毎日同じ時間に動作させることができます。

設定をまちがえた場合　設定の途中で操作を取り消すことはできません。一度設定を完了させてから再度設定しなおしてください。

注) 電池交換した場合、留守タイマー設定がリセットされますので再度設定を行ってください。

留守タイマー時刻設定方法

①：留守ボタンを留守設定表示が点滅するまで長押しする。
液晶画面が右図のように表示され留守設定1が点滅します。

※◯は点滅状態を示しています。

②：**明るく/暗くボタンで留守設定番号(留守1/留守2)を選択する。**
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の留守設定表示の点滅が右図のように切り替わります。

留守1を選択する場合　→⌂1　を点滅させます。
留守2を選択する場合　→⌂2　を点滅させます。

③：**ON/OFFボタンを押す。**
液晶画面に右図のように②で選択した留守設定番号（⌂1 又は ⌂2）と［入］が表示され『AM』、『PM』又は『－：－－』表示が点滅します。

④：明るく/暗くボタンで自動点灯をする又は自動点灯しないを選択する。
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の『AM』、『PM』、『－：－－』の表示が右図のように切り替わり点滅します。

明るく/暗くボタン　明るく/暗くボタン

午前の時刻に点灯させる場合に選択します。　午後の時刻に点灯させる場合に選択します。　自動点灯しない場合に選択します。

⑦項へ

⑤：ON/OFFを押す。
液晶画面の時刻表示が点滅します。

⑥：明るく/暗くボタンで点灯時刻を設定する。
明るく/暗くボタンで点灯させたい時刻に合わせる

明るく/暗くボタンを押すと1分単位で変化します。
明るく/暗くボタンを長押しで10分単位で変化します。

⑦：ON/OFFを押す。
液晶画面に右図のように②で選択した留守設定番号（⌂1 又は ⌂2）と［切］が表示され『AM』、『PM』又は『－：－－』表示が点滅します。

⑧：明るく/暗くボタンで自動消灯をする又は自動消灯しないを選択する。
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の『AM』、『PM』、『－：－－』の表示が右図のように切り替わり点滅します。

午前の時刻に消灯させる場合に選択します。　午後の時刻に消灯させる場合に選択します。　自動消灯しない場合に選択します。

⑪項へ

⑨：ON/OFFを押す。
液晶画面の時刻表示が点滅します。

⑩：明るく/暗くボタンで消灯時刻を設定する。
明るく/暗くボタンで消灯させたい時刻に合わせる

明るく/暗くボタンを押すと1分単位で変化します。
明るく/暗くボタンを長押しで10分単位で変化します。

⑪：ON/OFFを押す。（これで留守タイマーの設定は完了です。）
液晶画面が右図のように現在時刻表示画面に戻り、②で選択した留守設定番号（⌂1 又は ⌂2）が表示されます。

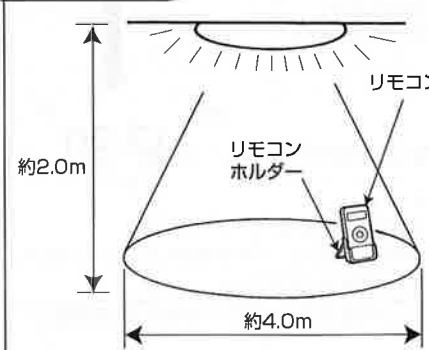
注1) 同じ留守設定番号で自動点灯しない、自動消灯しないを設定した場合でも、その留守設定番号は表示されます。
注2) 同じ留守設定番号で自動点灯/自動消灯の時刻を同じにすることはできません。(設定しようとすると『Err』の表示がされます。)
注3) 自動点灯を設定した場合、記憶された明るさで点灯します。(明るく/暗くボタンで調節したお好みの明るさとお好みの点灯モードを自動的に記憶しています。)
注4) 壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。

注5) 環境音を設定している場合、タイマーが「入」の場合は、環境音を再生します。タイマーが「切」の場合、チャンネルスイッチがCH1の場合のみ環境音の再生が継続します。

留守タイマー時刻設定例

※画面は表示例です。実際の表示と異なる場合があります。

留守タイマーをご使用の際は、リモコンを付属のリモコンホルダーに入れて信号が届く下図の範囲でご使用ください。

重要ポイント ※下図は目安です。

主光源を消灯させる時、常夜灯点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

●チャンネルスイッチがCH1の場合

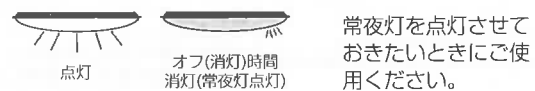
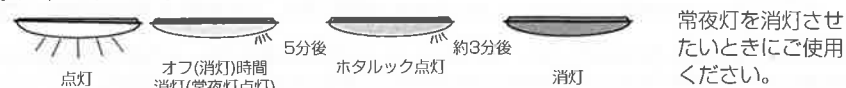
点灯　オフ(消灯)時間 消灯(常夜灯点灯)

常夜灯を点灯させておきたいときにご使用ください。

※ 環境音を設定している場合は、常夜灯・消灯時でも再生を継続します。

●チャンネルスイッチがCH2の場合

点灯　オフ(消灯)時間 消灯(常夜灯点灯)　5分後　ホタルック点灯　約3分後　消灯

常夜灯を消灯させたいときにご使用ください。

※ 環境音を設定している場合は、消灯時再生を停止します。
※ 必ず照明器具本体のチャンネルスイッチと合わせてご使用ください。
※ ホタルック不要の際は常夜灯ユニット(本体側)の残光スイッチを「切」にしてください。

スピーカー部の電源を照明の点灯状態と連動してオン/オフする

■ 全消灯の状態から主照明もしくは常夜灯を点灯するとき

1. 全消灯の状態から、リモコンで主照明もしくは常夜灯を点灯します。
2. 本機（スピーカー部）の電源がオンになります。

スピーカー部電源オフ　スピーカー部電源オン

※主照明、常夜灯の点灯方法については、5ページをご覧ください。
※電源オンの後、音が出るまでに数秒かかります。
※製品出荷時の状態では、環境音が再生されます。

■ 主照明もしくは常夜灯が点灯している状態から消灯したとき

1. 主照明もしくは常夜灯が点灯している状態から、リモコンで主照明もしくは常夜灯を消灯します。
2. 本機(スピーカー部)の電源がオフになります。環境音が再生されている場合は、再生が停止します。

スピーカー部電源オン　スピーカー部電源オフ

※主照明、常夜灯の消灯方法については、5ページをご覧ください。
※リモコンで電源をオフにした状態では、回路に少量の電流が流れています。本機(スピーカー部)の電源を切るには、壁スイッチを切ってください。
※電源をオフにした後ですぐに電源をオンにしても、本機(スピーカー部)の電源は入りません。電源をオフにした後は、5秒程待ってからオンにしてください。

スピーカー部の電源を単独でオン/オフする

■ スピーカー部をオンにする

1. リモコンの スピーカー電源 ON/OFF ボタンを押します。
2. "ポン"と確認音が1回鳴り、本機（スピーカー部）の電源がオンになります。

※電源オンの後、音が出るまでに数秒かかります。

■ スピーカー部をオフにする

1. リモコンの スピーカー電源 ON/OFF ボタンを押します。
2. "ポン、ポン"と確認音が2回鳴って、電源がオフになります。

※リモコンで電源をオフにした状態では、回路に少量の電流が流れています。本機(スピーカー部)の電源を切るには、壁スイッチを切ってください。
※電源をオフにした後で、すぐに電源をオンにしても本機(スピーカー部)の電源は入りません。電源をオフにした後は、5秒程待ってからオンにしてください。

LEDシーリング　スピーカー部 取扱説明書

スピーカー部の機能

本機（スピーカー部）は、付属のリモコンを使って以下の操作ができます。本書では、リモコンでの操作方法を説明します。

電源のオン/オフ（13ページ）

本機（スピーカー部）の電源は、"照明との連動によるオン/オフ"、"スピーカー部単独でのオン/オフ"が可能で、用途に合わせた使い方ができます。

環境音を楽しむ（14ページ）

6種類の環境音を用意していますので、雰囲気に合わせてお楽しみいただけます。

音量調節（14ページ）

音量を5段階で調節することができます。

***Bluetooth*® 機能搭載機器の音楽を楽しむ**（15ページ）

Bluetooth®機能搭載機器と接続して、お気に入りの音楽を楽しむことができます。

※*Bluetooth*®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、NECライティング株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

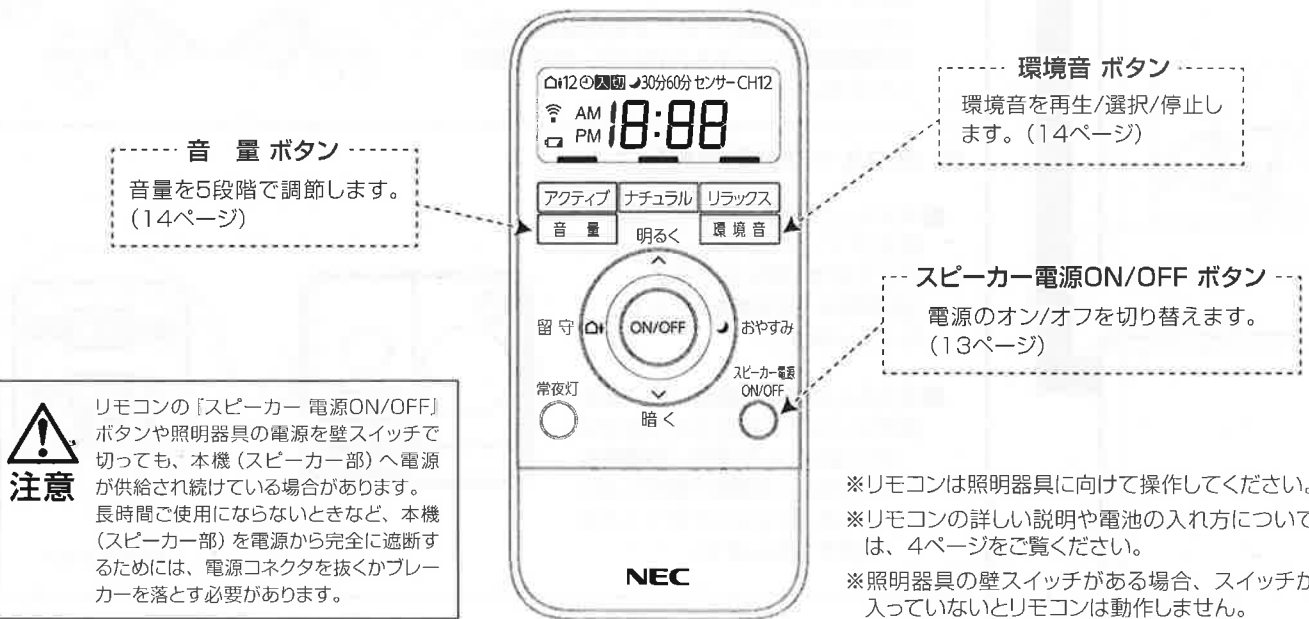
リモコンの名称

注意

リモコンの「スピーカー 電源ON/OFF」ボタンや照明器具の電源を壁スイッチで切っても、本機（スピーカー部）へ電源が供給され続けている場合があります。長時間ご使用にならないときなど、本機（スピーカー部）を電源から完全に遮断するためには、電源コネクタを抜くかブレーカーを落とす必要があります。

※リモコンは照明器具に向けて操作してください。

※リモコンの詳しい説明や電池の入れ方については、4ページをご覧ください。

※照明器具の壁スイッチがある場合、スイッチが入っていないとリモコンは動作しません。

〈専用アプリケーションによる操作〉

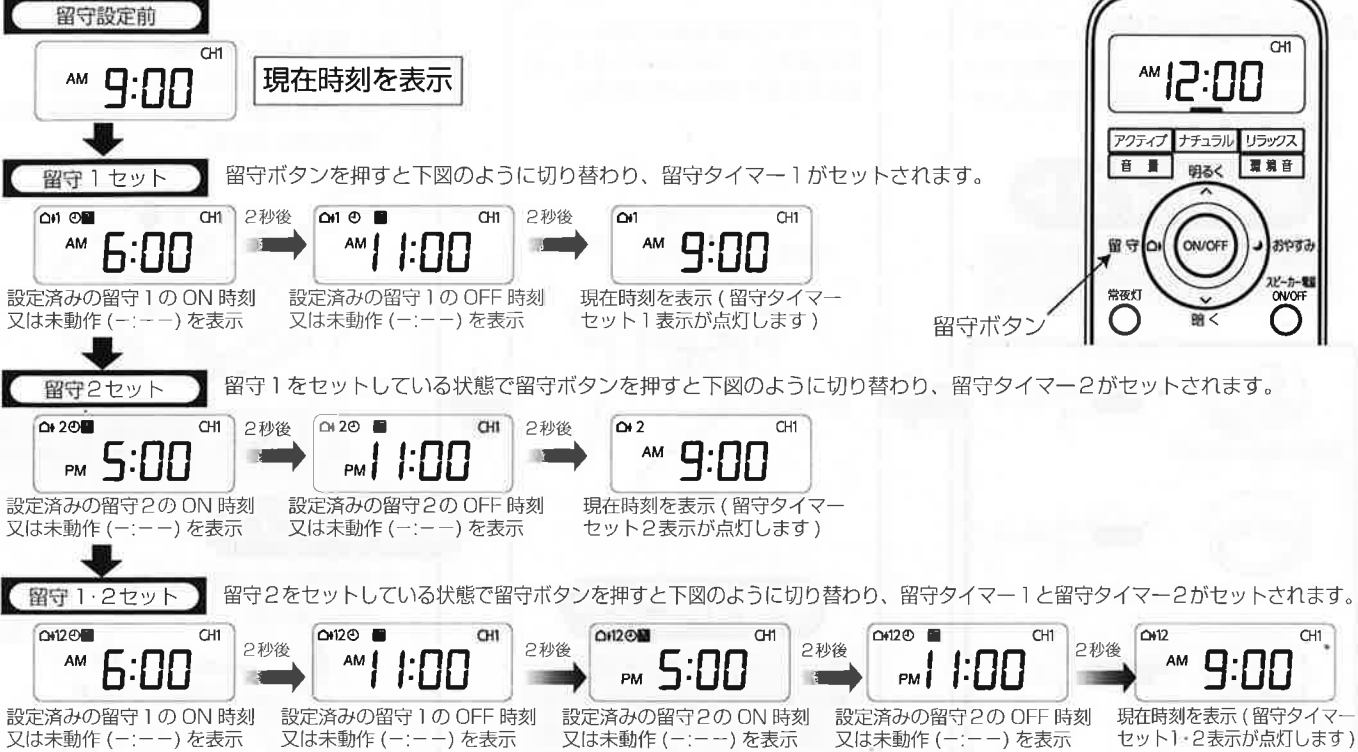
本機（スピーカー部）は、専用アプリケーション（照明アプリケーション）を使って以下の操作ができます。アプリケーションについての情報は、右のQRコードからサイトにアクセスしてご覧ください。

- リモコンと同じ操作ができます。（電源、音量、環境音の各種コントロール）
- 照明の調光/調色、環境音と音色を組み合わせた、6つのシーンモードの切り替えができます。
- おはようタイマー/おやすみタイマーを設定できます。

アプリ情報はこちらのQRコードでアクセス!!

専用アプリケーションはこちらからアクセス!!

※QRコード®は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

留守タイマーセット方法と解除方法

おやすみタイマー設定方法と解除方法

《おやすみタイマー機能》

30分後又は60分後に主光源を自動で消灯させることができます。

《設定方法》

おやすみタイマー設定されていない状態で

おやすみボタンを１回押すと、60分おやすみタイマーが設定されます。

《液晶表示》 PM 12:00（60分） おやすみタイマー表示の場所に60分と表示

おやすみタイマー設定されていない状態で

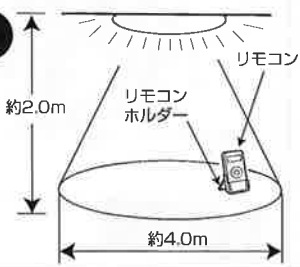
おやすみボタンを3秒以内に続けて2回押すことにより30分おやすみタイマーが設定されます。

おやすみタイマー表示の場所に30分と表示

※壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。

重要ポイント

おやすみタイマーをご使用の際は、リモコンを付属のリモコンホルダーに入れて信号が届く下図の範囲でご使用ください。

※右図は目安です。（約2.0m、約4.0m、リモコン、リモコンホルダー）

主光源を消灯させる時、常夜灯点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。**※必ず照明器具本体のチャンネルスイッチと合わせてご使用ください。**

●チャンネルスイッチがCH1の場合

点灯 → オフ(消灯)時間 消灯(常夜灯点灯)　常夜灯を点灯させておきたいときにご使用ください。

※ 環境音を設定している場合は、常夜灯・消灯時でも再生を継続します。

●チャンネルスイッチがCH2の場合

点灯 → 5分後 → 約3分後　オフ(消灯)時間 消灯(常夜灯点灯) → ホタルック点灯 → 消灯　常夜灯を消灯させたいときにご使用ください。

※ 環境音を設定している場合は、消灯時再生を停止します。

《解除方法》

おやすみタイマー設定された状態で

おやすみボタンをさらに１回押すと、おやすみタイマーが解除されます。

必ず液晶画面中に 30分60分 マークの**表示が消えていること**を確認し、解除できていることをお確かめください。

器具の取付方法　器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行って下さい。

1. 天井の引掛シーリングを確認する

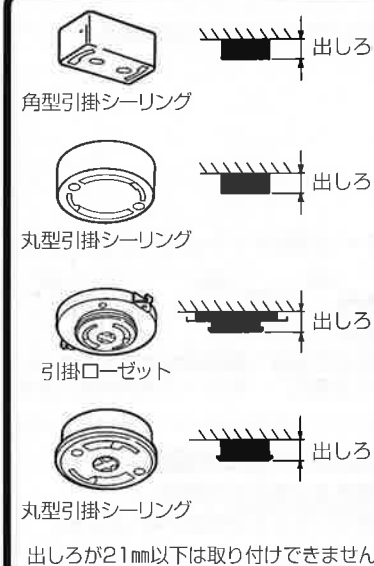
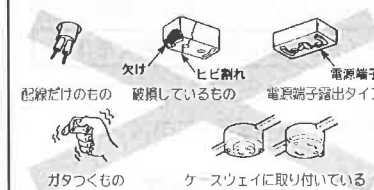
取り付け可能な引掛シーリング

・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。(ガタつきや破損がないことを確認して下さい。)

重要ポイント

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。

出しろが21㎜以下は取り付けできません。

出しろが10㎜以下は取付できません。

取り付けできない引掛シーリング

取り付けるする際は、必ず上図の取り付け可能な引掛シーリングに交換して下さい。
交換には電気工事士の資格が必要です。
交換工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。

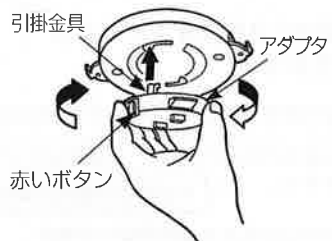
(引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けないで下さい。器具が落下する恐れがあります。)

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し、矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

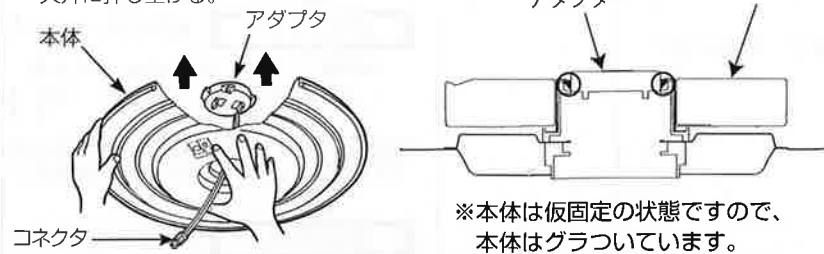
取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

⚠警告

落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

①1段押上げ (仮固定)
コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラついています。

⚠警告 まだ本体の取り付けは不完全です。この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

重要ポイント

②2段押上げ (取付完了)
さらに強く押し上げる。

要チェック

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ (2ヶ所) が完全に出ていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

2. アダプタを取り付ける

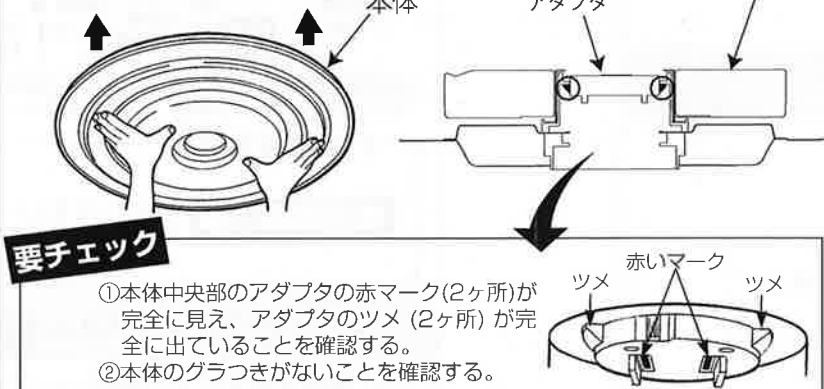
アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し、矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

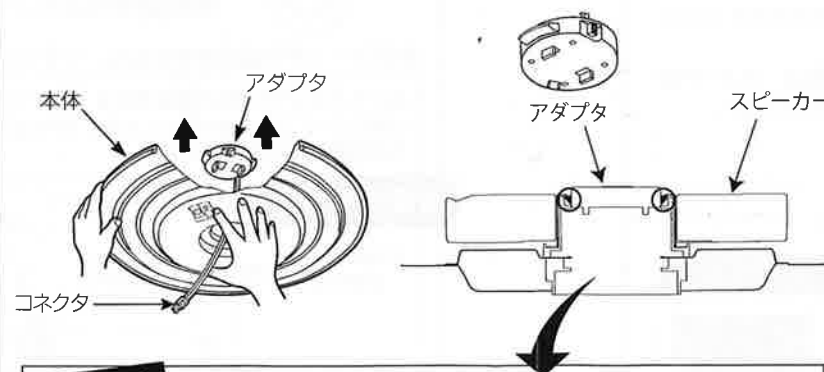
⚠警告

落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

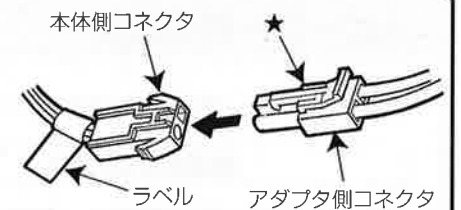
①1段押上げ (取付完了)
コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

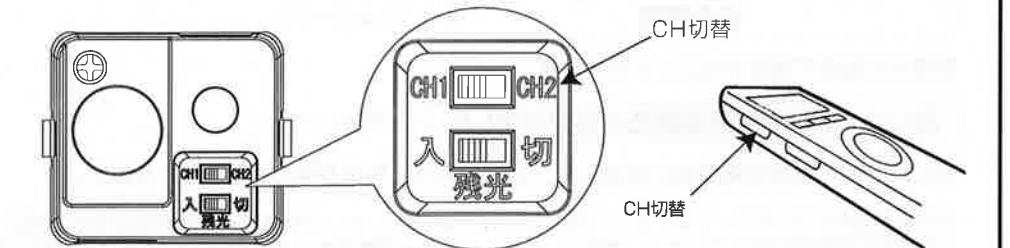
要チェック

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

4. 電源を接続する

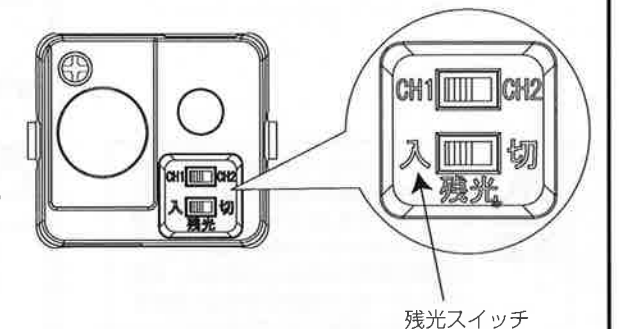
アダプタ側のコネクタを本体側のラベルが貼られているコネクタに確実に差し込んでください。

★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。

5. チャンネルを設定する

■1台のみ操作する場合
器具本体側のチャンネルとリモコン送信機チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。
(出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信機共、チャンネル1に設定しています。)

■2台の器具を別々に操作する場合
(1つのリモコン送信機で2台の器具を別々に操作することができます。)
1台目の器具本体側チャンネルを「1」、もう1台の器具本体側のチャンネルを「2」に合わせてください。
リモコン送信機のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。

6. ホタルック機能を設定する

■ホタルック機能を使用する場合
残光スイッチを「入」にすることで使用可能となります。
(出荷時は、残光機能が「入」となっています。)

■ホタルック機能を使用しない場合
残光スイッチを「切」してください。
注)「切」にした場合、停電時もホタルック機能が動作しないため、「入」にしておくことをおすすめします。

7. カバーを取り付ける

重要ポイント

本体の警告印( )にカバーの警告(⚠)を合わせカバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわしてください。

カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け(押し上げ)が不十分です。
「3. 本体を取り付ける」に従って本体の取り付け(押し上げ)を確認してください。

⚠警告 落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

※カバーを取付けずに点灯するのはおやめください。